

Beyond  
Angiography  
Japan

# Beyond Angiography Japan XXIX

会期 2025年3月27日(木)

会場 日石横浜ホール

大会長 大倉 宏之 岐阜大学医学部

副会長 福田 哲也 国立循環器病研究センター

演題  
募集

募集期間 2024年  
10月1日(火)  
↓  
12月28日(土)

*Harmonization and diversity in heart and vascular imaging*

<http://www.visitech.co.jp/baj/29>

# Harmonization and diversity in heart and vascular imaging

Beyond Angiographyは、米国でNissen教授(Cleveland Clinic)、Yock教授(Stanford University)らが中心となって発足した会で、日本でも1996年に山口徹先生、鈴木孝彦先生らを中心にBeyond Angiography Japanとして船出し、今回で第29回目を迎えることとなりました。本会ではBeyond Angiographyの名前のとおり、血管造影法の限界を補完する非侵襲的診断技術であるcoronary CTやCardiac MR、PETなど、血管内イメージング(IVUS、OCT/OFDI、NIRSIVUS、血管内視鏡)、さらに生理的な虚血の指標であるFFR、iFR、FFR-CTを取り上げ、それらの科学的根拠、臨床的有用性および安全性などについて詳細に検討し、発表や討論を通じて最新の知見が紹介され、虚血心疾患の病態の理解やカテーテル治療の発展に大きく貢献してきました。今回のテーマは、「Harmonization and diversity in heart and vascular imaging」としました。上で述べたように近年さまざまな侵襲的、非侵襲的検査診断法が開発され、すでに臨床応用がなされていますが、これらの検査方法を実際の診療でどのように使うべきなのか、適応や運用にどんな問題点があるのか、さらに求められるものは何か、得られた情報を患者の治療にどのように反映させるのかなどまだまだ多くの課題が残っています。放射線科

医と循環器内科医二人で企画と運営を担当して、医師、メディカルスタッフ、開発企業を含む多くの職種に参加していただける企画を準備いたします。より精密な診断、患者中心の有機的な運用、今後の展開を広く議論する場としたいと考えています。COVID-19の発生以来Webおよびハイブリット開催とさせて頂いておりましたが第29回においては対面開催を予定しております。過去3年間に定着したWEB形式の学術集会は遠隔地からも移動無く参加が可能となり有効な学会開催形式として一定の評価が得られました。一方で学術集会の目的は最新の研究成果の発表と共に会員間の交流でもあり、会場内外での参加者の対面交流がその後の新しい研究を進展させる機会を提供する役割がございます。今回は発表者、参加者が一体となって現地での熱い意見交換の場なるべくプログラムを企画する所存です。

## Beyond Angiography Japan XXIX

大会長 大倉 宏之(岐阜大学医学部)

副会長 福田 哲也(国立循環器病研究センター)

## Beyond Angiography Japan

代表世話人 鈴木 孝彦(豊橋ハートセンター)

## シンポジウム1

「冠微小循環障害:INOCAから心筋疾患、HFpEFまで」

## シンポジウム2

「低侵襲治療に対する心血管イメージングの集学的アプローチ」

## シンポジウム3

「AIを実装する」

プログラム

## Program at a glance

	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
第1会場	Opening Remark	ランチョンセミナー1	シンポジウム1	スポンサードセミナー1	シンポジウム2	スポンサードセミナー3	イブニングセミナー	シンポジウム3	表彰式 & Closing Remark
第2会場		ランチョンセミナー2	一般演題1	スポンサードセミナー2	YIA	スポンサードセミナー4	イブニングセミナー	一般演題2	

## 一般演題募集

**募集内容:** FFR、OCT/OFDI、IVUS、血管内視鏡、CT、MRI、核医学等のイメージングを用いた診断・治療に関する興味深い症例

**募集種類:** ①学生・研修医 ②一般:メディカル、メディカルスタッフ ③U40 ※U40は40歳未満の方に限ります。

**応募方法:** ホームページの演題募集ページから抄録(演題名・演者・共同演者・所属・本文(400~800字以内))を事務局までお送りください。後日、選考にあたり画像データの提出をお願いする場合があります。演題のご応募はホームページからご応募ください。

**募集期間:** 2024年10月1日(火)~12月28日(土)

**発表方法:** 採択された演題は口述またはポスター発表して頂きます。

**特典:** ①演題採択者は参加費無料 ②優秀演題は表彰いたします。

**表彰:** 最優秀賞(口述発表) 優秀賞(口述発表) 優秀ポスター賞

**症例申込先e-mail:** beyond@visitech.co.jp